

平成29年度 釜戸小学校の教育方針と重点について

日頃は、釜戸小学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の評価を踏まえ、平成29年度の教育方針と重点について以下のようにまとめました。学校の教育目標「☆人間性豊かな子：進んで勉強する子・仲良く助け合う子・じょうぶで明るい子」を具現し、子どもたちが「生きる力」を身に付けていけるよう、家庭や地域と連携・協力して教育を進めて参ります。保護者の皆様や地域の皆様にご承知おきいただくとともに、一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 子ども一人一人の学力の向上をめざします

(1) どの子どもも「分かった」「できた」と実感できる授業を工夫します

- ①一人一人の実態をきちんと把握し、個に応じた指導や学び直しの機会の設定・朝活動に学習を位置づけるなど、基礎基本の力の定着に力を入れます。
- ②自分の考えをもち、子ども同士で話し合ったり教え合ったりする活動を大切に、「伝える力」が高まる授業をめざします。また、算数科の授業において少人数指導を習熟度にあわせて実施し、理解が深まるよう丁寧な指導をします。

(2) 基礎基本の定着を図ります

- ①漢字の検定や算数の検定を毎月（年間各10回）昼休みに行い、学習したことの定着確認するための時間を設けます。また、算数では県web systemを活用し、個々の学力の定着を見届けます。
- ②放課後や夏休みなどに個別の学習指導を実施します。（ご家庭にお子さんの送迎をお願いすることもあると思いますが、よろしくをお願いします。）

(3) 学校での読書指導を充実させます

- ①読書をする習慣が日常的に定着するよう工夫します。
（読み聞かせ、図書館祭り、ブックトーク、学級の読書コーナーの工夫）
- ②個々の読書の実態を把握し、図書館の充実と適切な読書指導に努めます。

2 あたたかい人間関係を築く指導や援助を充実し、社会性が高まる教育に力を入れます。

(1) 個々の思いを把握し、あたたかい人間関係をつくるよう努めます

- ①人間関係のトラブルやその子の悩みを把握し、個別に懇談する機会を設け、早期対応、早期解決に努めます。
（毎月、心の悩みアンケートを実施）
- ②道徳の授業を核とし、正しいことが当たり前に行える学級、いじめのない学級・学校づくりに積極的に取り組みます。ケース会議を定期的に行い、児童の実態と支援の方向を検証します。
（いじめにかかわる未解決事案0をめざします。）

(2) 登下校時の見守りや分団指導を行います

①登下校の様子に関する情報を班長や連絡ノートに活用することで、実態把握をし、安全な登下校ができるよう指導します。

(毎朝の登校指導・月2回の下校指導を実施します。)

②登下校指導や校内挨拶運動を通して、校内・地域で元気なあいさつができるよう指導します。

(3) 学校からの情報発信と保護者からの情報収集に努めます

①温かい人間関係づくりや安全指導に関わる指導内容を積極的に保護者の皆様にお知らせします。(学校での指導内容をご理解いただき、家庭や地域でもそれを大切にして指導していただく。)

②保護者や地域の皆様から学校に情報を提供していただけるよう働きかけます。(家庭や地域で心配なこと、気づいたこと、子どもの良い姿などの情報を教頭までお寄せください。)

(年間2回、ハッピーメッセージを募集します。)

3 家庭や地域と連携し地域とともに歩む学校をめざします

(1) 家庭学習の習慣化と生活習慣の充実をめざします

①「家庭学習のすすめ」の積極的・継続的な活用と釜戸校区教育週間の充実を図り、家庭での過ごし方について家庭と一緒に考え、家庭学習の習慣化や読書の充実に寄与します。

(年間3回の家庭教育週間を実施します。)

②PTAと連携し、ゲーム時間やPC使用時間、携帯電話等による情報モラル・ルールづくりについて一緒に考え、生活習慣のさらなる改善を図ります。同時に、家庭での読み聞かせや親子読書の習慣化を図ります。

(2) ふるさと教育を充実し地域とともに歩む教育活動を行います

①家庭科、野菜作り、地域の自然や歴史の学習において地域の人材を積極的に活用します。

②地域にある資源を教材化し、地域をより知っていく教育を進めます。

(3) 子どもたちの地域行事への参加や地域の諸活動への協力を大切にします

①公民館・青少年育成町民会議や子ども会と連携し、地域行事に主体的に子どもたちが参加できるように協力します。

②中学校との連携を工夫し、地域で活躍できる子どもを育てます。